

あなたのご家族（兄弟・姉妹・父母・祖父母）に八中の卒業生がいたら見せて下さい。

変わる社会 「物作り」 一言に物作りとはいえ、私たちの身の回りには、簡単な物から精巧な物、或いは技術や熟練を要するものまで様々である。そこで皆さんに分かり易い「模型」をテーマに話を進めます。そこで「飛行機模型」を例にとりますと、戦前にはおよその飛行機の形の木片セットで、あとは木を切ったり削ったりして形を整えていたとのこと。ですので、製作者により見た目の違う物が出来た。

戦後は、もう少し具体的に部品が構成され、製作用の図面も添えられられた。ところが少し部品が増えると、部品の一部が無かったりした。そうすると模型は完成しない。メーカーに問い合わせしようと思っても、まだメーカー名の記載も無く、泣き寝入り状態だったそうだ。

ところが、そんな状況を打破したのが「プラモデル模型」の出現である。このプラモデルの部品は一体成型で作られるので、部品の欠落はない。それは画期的な事であった。木片を切ったり削ったりして飛行機を作ると、製作者により翼の大きさが違ったり、胴体の太さや大きさも違い、様々な形のいわば独創的な飛行機が出来たに違いないし、それはそれで面白い。

プラモデルは、工場での一体成型で量産される物であるから、誰が製作しても同じ形の飛行機が出来る。違いは成型品から部品を外す時に「バリ」が無いように綺麗に取るか、或いは部品接着する時に、接着剤がはみ出ない様にするかという丁寧さだけである。そしてその製作には組み立て順序図面が添付され、順序通り作れば誰にでも出来る。つまり、「マニュアル」の原型が生まれた。

マニュアルとは、平準化ともいい、要は誰が行っても同じ結果が得られるツールなのです。ですので、戦後の高度成長で工業生産が拡大する中では、この模型マニュアルが大きな貢献をしたと思う。このマニュアル化に伴う物造りは、同一品の大量生産には大きく寄与しているが、個性や創造性は発揮されない。また現在のマニュアル社会の中では、創造的な人間が育たない事が危惧される。

プラスチックで構成される「レゴ」という部品組み立て玩具がある。そこで形成される完成形が製作者により違うことで、多くのクリエイターが小さい頃から親しんでいる事は注目される。またプラモデルは、作る事を止め、完成品で遊ぶ事に変化し、更には「模型離れ」にもなっているという。

出来合いのもので遊ぶ風潮は、創造性の欠如となり、知恵や工夫の機会を逸している。そこでお勧めしたいのは「粘土」である。粘土は誰もが取り組める素材であり、皆で作っても一つとして同じ物は出来まい。それが創造的であり、面白いところである。きっと想像力豊かな物が出来るだろう。

野口町 野口町の町の由来は曳馬野の入口であり、曳馬野への坂の登り口であった事から野の口、野口となった。

明治22年（1889年）町村制の施行、曳馬下村と合併後、同村の大字野口となる。大正5年（1916年）浜松市大字野口となり、大正14年（1925年）野口町となる。

戦災で焼失後、昭和26年（1951年）頃より凧揚げ祭りが定着。昭和30年代に入り、織物・染物・鉄工業が盛んとなり、町内も活気に溢れていた。昭和35年には屋台も建造され、経済的にも最盛期となっていた。

平成2年のバブル崩壊を期に、織物及びこれに関連する業者は激減することとなる。

現在の人口（令和4年7月1日現在）

世帯数：1,076世帯

男：1,011人・女1,131人

合計2,142人



八幡中学校同窓会事務局 代表 白井 鉄男
連絡先：〒430-0928

浜松市中区板屋町612-402

TEL/FAX：(053) 489-6391

ironman29@hotmail.co.jp

八幡中学のホームページに「同窓会だより」のコーナーがあり、スマホやパソコンで見られます。
皆様の友人や同級生にも教えてあげて下さい。この「同窓会だより」は毎月発行します。